



「向き不向きより好きかどうか」

昨年10月の「紫金山・アトラス彗星」の話を憶えていますか？ 次に出会うのは8年後でしたが、何と今年の10月にも別の彗星「レモン彗星」がやってきました。これを知ったのは地球最接近の10/21。明るさのピークは10月下旬ということで、仕事終わりにH先生と撮影に行ってきました。昨年の彗星と比べるとちょっとわかりにくいですが、秋の澄んだ空にその姿を撮影することができました。

今年の夏、愛読している「宇宙兄弟*」が次巻で完結ということで、夏休みに1巻から読み直したせいか、いま宇宙愛に目覚めています。写真にも人工衛星が写っていますが、先月まで放送していたNHK夜ドラ「いつか無重力の宙で」観てた方はいますかね？ 元高校天文部の4人が30歳を過ぎて自分たちで人工衛星を制作し、宇宙から地球を撮影するというお話でしたが、これもう素晴らしい。JAXAの審査さえ通れば(これが難しい)自分で作った人工衛星をロケットで運び国際宇宙ステーション(ISS)から放り出してくれるなんて知ってました？ まあお金も時間もかかるミッションですが「夢」がありますよね。彗星と共に映ったこの衛星たちも何かのミッションを果たしているんだなあと思いました。ドラマのなかで「自分はこの仕事に向いているからやり続けるべきか」と悩む主人公が「その仕事が好きかどうかじゃないですか？」の一言から自分を見つめ直します。先生も教師という仕事に向いているかどうかはともかく、好きか嫌いかといえば「嫌いではない(笑)」最近化学の質問が多くなり、一緒に解いているとやっぱり楽しいものです！



(↑HPで見ればわかるかもです)

10月毎週末の模擬試験を乗り切った3年次生の皆さん、お疲れ様でした。先生ゲームはあまりしないのですが、繰り返し繰り返しやることで攻略していくことと入試対策は似ている部分もあると思います。模擬試験も定期試験もそうですが、**知識は「適切な振り返り」**をすることで**定着し、使える**ようになるものだと思います。なので、今月は空いた時間を見つけてじっくり落ち着いて「模試直し」することをお勧めします。特に理科や社会を(笑)。

今月は模試の結果がやってきます。夏の成果が現れてくる頃です。が、この結果は1カ月前の自分です！ 安心することも不安になることもありません。大学生として「好きなことを勉強するため」これまで通り「自分を信じて＆先生達を信じて」です。高校最後の定期試験が終われば、ひとまず予定がぼっかり空いた週末が続きます。土曜の朝起きて「今日は何しよう？」ですと、ほぼアウトですよ。週末何するかは金曜の夜には決めておきましょう。

*宇宙兄弟ですが、最新刊の45巻を読まずに1巻から読み直し、結局45巻は最終巻の完結46巻の発売まで読まないで決めた 3年次主任 三井恒弘

保護者の皆様へ

今月は私立大学出願の準備です 10月に共通テストの出願が終了し、先日確認書が届きました。これから、併願校の受験を含めた具体的な受験計画を立て始める時期となりますが、引き続き御家庭で話し合いをする機会を持っていただきたいと思います。その際、模試のデータ個票を参考にされるとと思いますが、合否判定だけにとらわれることなく、様々な視点からの検討をお願いします。悔いのない受験のためには、最後まで志望校を安易に諦めることなく、自分の力を知る上で日々の努力の積み重ねを大切にしてほしいと思います。学校では12月の二者面談などを利用してアドバイスをいたしますが、積極的な三者懇談の実施を担任間で確認したところです。お気軽に担任までお申し出ください。

◎11月行事予定 ～冬時間です。最終下校時刻は18:30&今月末は高校生活最後の定期試験！～

| 日 曜 | 予 定 | 日 曜 | 予 定 |
|------|---------------------------|------|--------------------|
| 8 土 | 第3回共催大学入学共通テスト模試(3) | 23 日 | 祝 勤労感謝の日 |
| 9 日 | | 24 月 | 祝 振り替え休日 |
| 10 月 | B IB最終試験(PM) 第3回定期試験時間割発表 | 25 火 | 家 定期試験成績処理日(家庭学習日) |
| 11 火 | B IB最終試験(AM) | 26 水 | A 週礼 |
| 12 水 | B 職員会議・週礼 | 27 木 | A |
| 13 木 | B | 28 金 | A |
| 14 金 | B | 29 土 | |
| 15 土 | | 30 日 | |
| 16 日 | | 1 月 | B |
| 17 月 | 行 第3回定期試験 | 2 火 | B |
| 18 火 | 行 第3回定期試験 | 3 水 | B 週礼 |
| 19 水 | 行 第3回定期試験 | 4 木 | B 定期試験入力完了 |
| 20 木 | 家 県民の日 | 5 金 | B |
| 21 金 | 行 第3回定期試験 全統ブレ共通テスト(3) | 6 土 | |
| 22 土 | 行 全統ブレ共通テスト(3) | 7 日 | |

=====
今月の年次の先生方からの皆さんへのメッセージを送ります。 今月は2組の向山直貴先生と今村勇二先生です。
=====

「まだ見えぬゆくすゑに思ひをやりて」

いよいよ11月ですね。今年は外壁工事のシートの存在も相まって、教室内は冬の寒気が一足先に到来した感がありますが、来春の桜咲くを夢見て皆さん一層学習に身が入っているように感じます。高校生活最後の定期試験も迫っていますし、もう一段ギアをあげて頑張っていきましょう。

つい先日新幹線の車内でこんな広告を見かけました（一部の生徒はご存知の“向山、大阪と山梨を一日で1.5往復！の巻”の時）。恐らく、今話題になっている“リベンジ退職”を意識した広告なのかと思いましたが、このような広告の存在が、この現象が決して局所的なものではないことを感じさせました。それほどまでに会社への怨嗟は深いのか…と思うとともに、会社は集団であるので、退職した人の周囲のみならず無関係な人にまで様々な影響を与えるのが“リベンジ退職”なのだろうと思うと複雑な気持ちになりました。



さて、いきなりですが、皆さんの入試の話に飛びます（いきなり！）。皆さんの今の頑張りは短期的には皆さんの入試の結果に直結します。では、長期的にはどうでしょうか。大学に入ったあとの友人や恩師との出会い、大学卒業後に迎える新たなステージ、そこで出会う新たな仲間、さらにその先の人生…きっと皆さんは多くの人を支え、多くの人に支えられることと思います。そうした今の自分からは展望しきれない“何か全て”に何らかの形で繋がっているのが、今の皆さんの頑張りののだと思います。（不本意な結果に終わったとしても、後悔が残らないほどやりつくせたと思うのであれば、きっと今の努力は絶対に何か結びついていくと思える…はず）という訳で、1つの出来事がその人の見えない何かまでに繋がっている…という意味では冒頭の“リベンジ退職”と微かにつながると思うのですが、牽強付会と言われればそれまでですね(笑)でも、こんな感慨（というか妄想？）に浸りながら、新幹線に揺られておりました。

もちろん今までの話は気休めと言われればそれまでですが、目の前の得点の浮き沈みや模試の判定、短期的な結果ばかりを考えると息苦しくなる時もあるのではないかな…と思います。そういう時は（難しいかも知れませんが）長い人生なんとかなるさの精神で、長い目で楽しいことも考えながら一日一日を出来る限りのことをやってやり過ごしていくのも一つの手かな、と思います。（ちなみに、私も受験生の時は、来るべき大学生活、一人暮らし、当時付き合っていた彼女と東京でデートすること、サークルのこと、バイトのこと、あれこれやりたいことを妄想して、時には書き出して悦に浸ってました）

というわけで、長い冬の幕開けの空気を感じつつも、“冬来たりなば春遠からじ”の心で皆さんと一緒に素敵な春を迎えたいと思います。引き続き共に頑張っていきましょう！

2組担任 向山 直貴

「オポチュニティの轍【轍編】」※【オポチュニティ編】（4月の年次だより掲載済）

火星探査機「オポチュニティ」の運用期間は、当初約3カ月と想定されていたそうですが、実際には着陸してから14年半の長きにわたって活動を続けました。砂嵐が激しく荒涼とした火星で、想定の上を越える期間、探査を続けた「オポチュニティ」。その「オポチュニティ」が自身の進んできた道を振り返って撮った写真が「オポチュニティの轍」です。歩んできた道の後ろには、歩んだ分だけ「轍」ができます。皆さんの甲府西高校での3年間の「轍」もくっきりと残っているはずです。これまでの学校生活で、楽しかったこと、苦労したことや困難なことを乗り越え、一步一步進んできた足跡が必ず刻まれています。皆さん自身が、目的をもって、あるいは意志をもって準備してきた好機を实らせるために残してきた「轍」です。今まさに、その好機を实らせるときです。それが信念に基づいた「轍」であったなら、尊く誇らしいものだと思います。たとえ、今は不本意なものであったとしても、これからの未来につながっていく確かな「轍」です。



地球から、はるか遠く離れた火星で、ミッションを続けた「オポチュニティ」の歩みは孤独だったのでしょいうか。私はそうは思いません。「オポチュニティ」には双子の火星探査機「スピリット」がいました。また、地球からその活動を支え、我が子のように見守る多くの存在がありました。

これから、皆さんは誰かと交わることがあっても重なることのない、「轍」を刻んでいきますが、その陰には、仲間、家族、先生など多くの人たちの支え、見守りがあります。だから、ひとりでも孤独ではありません。そのことを忘れず、新しい「轍」を刻みながら、前進してください。火星の夕焼けは青いそうです。まだ見ぬ景色をみるために遠く遠く旅してください。

（参考 『宙わたる教室』伊予原 新 『火星探査：スピリット&オポチュニティ』）

2組副担任 今村 勇二